

「警報」「危険警報」「特別警報」等発表時における本校での対応

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校

神奈川県全域または神奈川県東部または横浜・川崎および自宅を含む地域に「警報」「危険警報」「特別警報」等が発表された場合、生徒の安全確保について、本校では次のように対応します。

警 報	暴風警報・大雪警報・暴風雪警報が該当
※危険警報	氾濫危険警報・大雨危険警報・土砂災害危険警報・高潮危険警報
※特別警報	すべての種類の特別警報が該当

	状況	本校での対応
登 校 前	午前 6 時の段階で「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」が発表継続中の場合	生徒は自宅待機とする。 (原則として学校からの連絡は行わない)
	午前 11 時以前の段階で「警報」が解除された場合	午後から授業を行う。 生徒は安全に注意して登校する。
	午前 11 時の段階で「警報」が発表継続中の場合	臨時休業とする。
登 校 中	「警報」が発表された場合	生徒は自宅に連絡し、安全に注意して帰り、自宅待機とする。
登 校 後	「警報」が発表された場合 「警報」が発表される予想が高まった場合	授業繰り上げ等の措置により、すべての活動を中止し、 生徒は安全に注意して下校する。 状況に応じて、学校の指示に従って行動する。
※「危険警報」「特別警報」については、発表を待たずに臨時休業となる場合がある。臨時休業とする場合は各家庭に「すぐーる」等で連絡します。		

午前 6 時の段階で「暴風警報」を伴わない 「大雨警報」「氾濫警報」が発表継続中の場合	生徒は安全に注意して登校する。 登校中は「暴風警報」「危険警報」の情報収集を行う。
--	--

▼降灰予報が発表された場合

午前 6 時の段階で発表継続中（登校中を含む）	臨時休業とする。
登校後	授業等を打ち切る。生徒については、あらかじめ保護者から預かる（留め置く）か、下校させるかの希望を聞き、原則それに従う。

▼大規模地震の場合

地震により大規模な被害が確認または想定される場合

登校後	授業等を打ち切る。生徒については、あらかじめ保護者から預かる（留め置く）か、下校させるかの希望を聞き、原則それに従う。
-----	---

▼津波警報が発表された場合

地震（近隣国も含む）により津波警報が発表された場合

登校後	授業等を打ち切る。生徒については、あらかじめ保護者から預かる（留め置く）か、下校させるかの希望を聞き、原則それに従う。
-----	---

令和 8 年 6 月改定

Jアラートを通じて緊急警報が発信された際の本校での対応について

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校

弾道ミサイル発射についての情報が全国警報システム（Jアラート）によって発令された場合、本校ではJアラートやラジオ、テレビ放送、インターネット等から危険の情報を把握するとともに、生徒の安全確保を最優先に考えて対策等を判断し、次のように対応します。つきましては、生徒の安全確保を最優先にした対応を原則としますので、保護者等の皆様にはご理解、ご協力をお願いいたします。

Jアラートの状況			登校前	登下校途中	登校後・在校時
神奈川県が対象地域の場合	第一報	発射情報	生徒は自宅待機とする。 ※早朝等に弾道ミサイル発射情報が伝達された際の登校時間の変更や臨時休業などについては学校からメール等で情報伝達をする。	生徒は落ち着いて直ちに行動する。 (屋外に居る場合) 生徒は近くの建物の中や地下に避難する。建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて鞆等で頭部を守る。 (屋内に居る場合) 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。	校舎内、体育館等への避難や建物内では窓から離れるなど速やかな避難誘導を行う。 安全が確認できるまで学校に留め置く。
	第二報以降	上空通過・領海外落下	情報確認後、生徒は安全に注意して登校する。	情報確認後、生徒は安全に注意して登下校を再開する。 ※状況に応じて臨時休業となる場合もある。その際はメール等で情報伝達をする。	情報確認後、授業等を再開する。 ※状況に応じて臨時休業となる場合もある。その際はメール等で情報伝達をする。
		落下（領海を含む）	横浜市内に落下した際は、原則として臨時休業とする。	Jアラート等の続報で落下地域を確認し、登下校中の生徒については、自宅に連絡し、安全に注意して帰宅する。	Jアラート等の続報で落下地域を確認し、引き続き安全確保を行う。 原則、生徒を学校で留め置き、安否情報を保護者等に連絡する。 状況に応じて、学校の指示に従って行動する。